

# ほくピーたより

北部病院 情報誌・第7号

2021.07.01号

北部病院キャラクター  
「ほくピー」

発行・文責：渡邊 理香



## おかげさまで開院 42 周年を迎えました！



6月3日は北部病院の開院記念日です。

昭和54年の開院後、今年で満42周年を迎えることになりました。ひとえに患者様方、患者様のご家族、地域の皆様方、それに日々支えてくれるスタッフのおかげです。誠にありがとうございます。

「人が輝く地域社会づくり」を目指し、これからもスタッフ一同で取り組んでまいります。

毎年恒例だった記念式と永年表彰式は今年も新型コロナウイルス感染がまだ終息しないため、永年表彰者の該当者に表彰のみ行いました。今年は20年勤続2名、10年勤続3名、5年勤続4名の合計9名が表彰されました。総勢9名の表彰は職員の1割を超える数字です。長年北部病院の職員として勤務に励み、病院を支えてくれるスタッフに心より感謝いたします。

## 高齢者の新型コロナワクチン接種がはじまりました

5月19日から当院でも新型コロナワクチン高齢者向け接種が始まりました。

連日事前に予約されたかかりつけの患者さまが接種を受けておられます。「テレビで見ているととても痛そうだったけど、実際そうでもなかったです。」「いや、結構痛かったよ。」などの色々な感想をいただいております。

ご了承を得て、長年当院をかかりつけにいただいているKさまの接種の様子を撮影させていただきました。Kさま、ご協力どうもありがとうございました！

一日も早くみなさまにワクチンが行きわたることを祈念し、当院も精一杯頑張っております。



## 梅雨時期の食中毒について

梅雨～夏の時期は特に食中毒の発生しやすい時期です。

**食中毒予防の3原則は、細菌をつけない・増やさない・やっつける**です。

買い物後はまっすぐ帰宅し、食材は冷蔵庫へ。手洗いを十分にし、肉類や卵などの生ものは中心部までしっかり加熱〈75℃以上1分間以上〉、肉の生食は避け、食肉を取り扱った後は手を洗い、調理器具も洗浄後よく乾燥させましょう。作った食品も常温での保存を避けるなど、各家庭でしっかり食中毒予防していきましょう。




医療法人社団 原武会  
北部病院







〒861-5515  
熊本市北区四方寄町 1281-3  
TEL 096-245-1115  
FAX 096-245-1126

## 不織布マスクでのご来院をお願いいたします

新型コロナウイルスの感染拡大や変異株の流行にも鑑み、当院では不織布マスクでのご来院をお願いしております。布やウレタンで作られたマスクに比べ、不織布マスクの方が飛沫の飛散を抑える効果が高い傾向にあることが、国立研究開発法人「理化学研究所」(理研)によるスーパーコンピューター「富岳」を使ったシミュレーション結果で判明しています。不織布マスク不足も解消した今、患者さま・スタッフの感染リスクを極力減らすため、ご来院の際は不織布マスクを正しく着用の上、ご来院いただきますようお願い申し上げます。

★不織布マスクは当院受付でもご購入いただけます。

 マスクの効果 (スーパーコンピューター「富岳」によるシミュレーション結果)

	マスクなし	不織布	布マスク	ウレタン
対策効果				
 吐き出し飛沫量	100%	20%	18~34%	50% <sup>※1</sup>
 吸い込み飛沫量	100%	30%	55~65% <sup>※1</sup>	60~70% <sup>※1</sup>

※1 豊橋技術科学大学による実験値

## 当院はエピペン登録医です



アレルギー疾患をお持ちの方々に、アナフィラキシーショックになってしまった場合の**エピペン**(アドレナリン自己注射)処方について、**当院の医師はエピペン登録医です**。エピペン処方ご希望の方は、**平日の外来受診**をお願いいたします。エピペンをお持ちの方は緊急時、ご自身だけでなく家族や同僚の方に注射をしてもらうことが必要となるかもしれません。その際に落ち着いて打ってもらえるよう、あらかじめ周囲に伝えておくことが大切です。 [アプリはコチラ↑](#)



## 難病サポートチーム

北部病院には多職種による**難病患者さんを支援するサポートチーム**があります。患者さまそれぞれに合った介護や看護の仕方、生活環境の提案、不安の傾聴などの支援について、入院・外来スタッフで連携を取りながら行っています。現在当院には難病の患者さまが10名近くご入院中です。より良いケアを提供できるように「肥後ダビンチ塾」という講習を受講し、医師1名 薬剤師1名 管理栄養士1名 理学療法士5名 作業療法士3名 看護師11名 介護福祉士1名 社会福祉士1名 ケアマネジャー2名と総勢26名が神経難病専門医療従事者として認定されました。

1. 患者様に応じた看護判断に基づき適切な実践を行う。
2. 難病の患者様、御家族様がより良い療養生活を送ることができるよう相談、助言を行う。
3. 難病患者様のそれぞれの生活を基盤としたネットワークを作り、療養を支援を行う。

上記を目指して患者さまのためにこれからも学んでまいります。

